

# これからの更生保護事業に関する提言 ～更生保護事業のあるべき姿の実現に向けて～

これからの更生保護事業に関する有識者検討会（座長 横田尤孝）

## 背景

- 出所受刑者の減少や更生保護施設以外の受け皿の拡大などの一方、更生保護施設が刑務所出所者等にとって地域社会における最も身近な支援者となることへの期待が高まる中で、持続可能な更生保護事業の在り方が問われている。
- 更生保護施設が、一時的な居場所の提供だけでなく、高齢・障害、薬物依存など困難な課題を抱える者に対する地域における処遇・支援の中核的存在としての「多様かつ高度な役割」が求められるようになり、その活動は一層困難となっている。

○ あるべき更生保護事業の姿について、**4つの重点課題**につき**27の具体的方策**を提言

### 重点課題 1

#### 更生保護施設における処遇や支援の充実強化

（主な提言）

- ・ 処遇の内容や方法に関する**ガイドラインの設定**
- ・ **処遇プログラム等の充実・多様化**
- ・ 高齢・障害、薬物依存の処遇に対応した施設の充実強化
- ・ 退所後の継続的な支援（**通所処遇**）の充実
- ・ 更生緊急保護の委託期間のメリハリある活用（**息の長い支援の実施**）

### 重点課題 2

#### 更生保護事業の新たな展開

（主な提言）

- ・ 地域社会における**支援ネットワークの拠点づくり**（コーディネーターの配置等）
- ・ 入所者以外の更生保護施設の積極的活用（他施設の入所者、地域居住者への支援の提供）
- ・ 早期仮釈放による**新たな中間処遇**
- ・ **公益事業の充実発展**（地域社会への貢献）
- ・ 各種施策の**効果検証**や**実証的調査・研究**の推進

### 重点課題 3

#### 更生保護事業の持続的発展

（主な提言）

- ・ 経営判断を助ける**ツールの整備**（処遇や支援への経営資源の効果的投下の実現）
- ・ 経営の強化・安定化（**更生保護委託費の構造の見直し**）

### 重点課題 4

#### 更生保護施設における職員体制の在り方、人材の確保及び育成

（主な提言）

- ・ 働き方改革を踏まえた職員体制の検討
- ・ 事業者間の協力による研修の充実
- ・ 幅広い分野からの職員の確保

専門性の高い処遇・支援を提供し、**息の長い社会復帰**を支え、**地域で生きづらさを抱える者の身近な支援者**となって、「**誰一人取り残されることのない社会**」の実現に貢献する更生保護事業を目指す。